



かわかみ・たかし 1955年、熊本県生まれ。拓殖大学海外事情研究所所長。大阪大学博士(国際公共政策)。フレッチャースクール外交政策(ミネルヴァ書房)、「新しい戦術研究」世界平和研究所研究員。争とは何か(同)など。

異例すぐめの米大統領選が終わり、まさかの「トランプ大統領」が誕生した。まさに「トランプ・ショック」の激震が世界中を走った。世界は米国民の選択を驚愕をもって受け入れるしかない。

トランプ氏は、白人労働者層の圧倒的な支持を得て当選した。彼は「一握りのエリート支配を破壊する」代表であり、忘れ去られた「普通の白人」の立場を代弁し、愛国主義に立つたポピュリストである(2016年4月、フォーリン・アフェアーズ)。時計の針は8年前に戻り、「フロリダを制するものは選挙を制する」と言われていたフロリダ州(同29)を押さえ、勝利を確実にした。

CNNの出口調査で米国の各メディアもトランプ氏の勝利を衝撃を持って伝えた(AP)。

損得で動く米新大統領

中でも、オハイオ州(選挙人18)で勝利したあたりから、潮目が変わった。その後、ペンシルベニア(同20)、ノースカロライナ(同

日米同盟に懸念

は選挙を制する」と言われていたフロリダ州(同29)を押さえ、勝利を確実にした。

さらに、深刻なのは党の分裂だろう。ワシントン・エスタブリッシュメントたちが、どこまで「トランプ大統領」に協力するのか。彼らのトランプ嫌いは激しく、議会は上下両院とも共和党が維持したが、トランプ氏は関係修復ができるかが問われる。修復ができれば、トランプ氏は内政でも外交でも政策を思う

は、トランプ氏は有権者の70%を占める白人票の58%を獲得した。男性の53%に加え、女性の42%がトランプ氏に投票した。黒人の88%はクリントン氏に投票したが、白人以外の人種(イタリヤ系含む)のうち、21%がトランプ氏に投票している。

これに加え、トランプ支持を公言しないが、選挙ではトランプ氏に入れる「隠れ支持票」が選挙を左右したとも言われる。

トランプ氏が勝利したことで、白人の不満はある程度は消えるかもしれない。しかし、クリントン氏を支持した黒人やヒスパニック系の非白人、イスラム教徒、女性たちの不満は残る。

トランプ氏は勝利したことに加え、選挙ではトランプ氏に入れる「隠れ支持票」が選挙を左右したとも言われる。

トランプ氏は勝利したことに加え、選挙ではトランプ氏に入れる「隠れ支持票」が選挙を左右したとも言われる。

トランプ氏は勝利したことに加え、選挙ではトランプ氏に入れる「隠れ支持票」が選挙を左右したとも言われる。

トランプ氏は勝利したことに加え、選挙ではトランプ氏に入れる「隠れ支持票」が選挙を左右したとも言われる。



トランプ氏は勝利したことに加え、選挙ではトランプ氏に入れる「隠れ支持票」が選挙を左右したとも言われる。

トランプ氏は勝利したことに加え、選挙ではトランプ氏に入れる「隠れ支持票」が選挙を左右したとも言われる。

日本には厳しい4年間に  
特に懸念されるのが日米同盟である。トランプ氏は日本にさらなる安全保障のコスト負担を求め、「応じなければ在日米軍の撤収を検討する」とまで言う。日本外交には、シベリアにビジネスライクに徹するタフさが必要とされる。その意味では、日本にとって厳しい4年間になりそうだ。